

2025 年 4 月 14 日

新造客船「飛鳥Ⅲ」竣工 「飛鳥Ⅲ」初代船長に小久江 尚が就任

郵船クルーズ株式会社(本社:横浜市、代表取締役社長:遠藤 弘之)は、2025 年 4 月 10 日(現地時間)にドイツ・エムデンにて、MEYER WERFT から新造客船「飛鳥Ⅲ」の引き渡しを受ける調印式を執り行ったことを発表いたします。



「飛鳥Ⅲ」(写真上) 調印式(同下)

調印式は、「飛鳥Ⅲ」船上で執り行われ、当社代表取締役社長 遠藤 弘之と MEYER WERFT CEO ベルント・アイケンス氏が調印しました。式典は関係者が会し和やかな雰囲気のもと進行了しました。

また、2023年9月に行われたスチール・カッティングセレモニーの際に、建造の安全を祈願した2つのだるまに目入れを行い、「飛鳥Ⅲ」の竣工を祝いました。調印式の後には、引き渡しの際の伝統的な儀式である、国旗交換も実施されました。

「飛鳥Ⅲ」は、飛鳥クルーズ 第 11 代船長 小久江 尚(こぐえ ひさし)が初代船長を務め、7月20日の就航に向けて新たなクルーズ文化を拓いてまいります。



「飛鳥Ⅲ」初代船長 小久江 尚



竣工を祝い両目に目入れされただるま



国旗交換

■ 「飛鳥Ⅲ」 概要

飛鳥クルーズ 3 番目となる「飛鳥Ⅲ」は、「つなぐ、ちから。」をコンセプトに、飛鳥クルーズが日本において培ってきたクルーズ文化、和のおもてなしを継承しながらも、多彩なダイニング、エンターテインメントやウェルネスなど心身を満たすプログラムを備え、より自由により豊かに、新たな時代のクルーズ価値を創造します。また日本が誇る著名なアーティストによる美術品、工芸作品の数々を船内至る所に展示した空間演出が楽しめることも特長です。加えて、LNG を含む 3 種類の燃料に対応するエンジンならびに陸上電力受電装置を採用し環境に配慮したクルーズ客船です。

■ クルーズスケジュール

「飛鳥Ⅲ」は、2025 年7月20日に横浜から出港する「Maiden Voyage 函館・小樽」を皮切りに、オープニングクルーズとして横浜、神戸、博多を起点に17本のスケジュールを発表し、4月3日より販売を開始しています。特に、8 月 5 日に横浜を出港する「Yokohama Debut Cruise 日本一周」では、11 泊 12 日の日程で函館、小樽、金沢、舞鶴、門司、別府に寄港し、北海道から九州まで日本各地をめぐる予定です。

クルーズスケジュールはこちら: <https://plan.asukacruise.co.jp/>

■ 船舶概要 (2025 年 4 月 14 日現在)

船籍:日本 船籍港(母港):横浜港 総トン数:52,265GT 全長:230m 全幅:29.8m 喫水:6.7m

乗客数:740 名 乗組員数:約 470 名 客室数:381 室(全室海側バルコニー付き)

■ 「飛鳥Ⅲ」の最新情報

「A-TIMES」として下記特集サイトにて紹介しています。

<https://asukaluxury.asukacruise.co.jp/>

飛鳥クルーズ 概要 www.asukacruise.co.jp

飛鳥クルーズは、日本のお客様のライフスタイルや嗜好に合わせたクルーズを提供。

「飛鳥Ⅱ」は、「お客様の好みに寄り添う旅」をコンセプトに、約 100 日間の世界一周クルーズやアジア・オセアニア方面の海外ロングクルーズ、日本の夏祭りを巡るクルーズ、ワンナイトクルーズ等多岐にわたる航路を展開。

2025 年 7 月 20 日に「お客様好みに広がる旅」をコンセプトとした新造客船「飛鳥Ⅲ」が横浜より就航予定。

「飛鳥Ⅱ」と「飛鳥Ⅲ」による二隻運航が始まります。“本物との出会いと感動を伝える”ことをブランドコンセプトに、飛鳥クルーズでしか得られない最幸の時間を創出し、日本のクルーズ文化の発展を目指しています。

■ 飛鳥クルーズ テーマ曲「ASUKA」

葉加瀬太郎氏作曲の飛鳥クルーズ テーマ曲「ASUKA」は以下よりご視聴いただけます。

YouTube: <https://youtu.be/fiWEuYcwrEs>

《本リリースに関するお問合せ先》

郵船クルーズ株式会社 広報・ブランド戦略チーム：大内・浦辺・武田・林・高橋・遠藤
TEL:045-640-5226 FAX:045-640-5366 Mail: pr@nykc.jp (10:30~17:00/土日祝休業)

